

2025 年度 豊橋技術科学大学同窓会 総会 議事録

日時： 2025 年 9 月 6 日（土）15:30～17:45 現地＋オンライン（Zoom）

現地会場： 豊橋技術科学大学サテライトオフィス（emCampus）

アクセス：<https://www.sharen.tut.ac.jp/satellite/>

Zoom: <https://us06web.zoom.us/j/83613405616?pwd=7s6a4v0VfMa4YDlirBv5y6AnS6B5ex.1>

議長： 若林 亮 豊橋技術科学大学同窓会会長

議事録：小松（2 系役員）

役員出席者 15 名（順不同，敬称略） ※太字は現地参加者 10 名

若林会長，高嶋顧問，戸高副会長（1 系），安部副会長（1 系），稲田副会長（2 系），日名地副会長（学外），山根（2 系），小松（2 系），田村（3 系），中尾（学外），栗田（4 系），松本（5 系），松尾（5 系），崔（海外支部），Tan（海外支部），Zaba Youn（マレーシア海外同窓会 支部長），TS Yew（マレーシア海外同窓会 副支部長）

役員外出席者 18 名：（順不同，敬称略）： ※太字は現地参加者 11 名

有原浩二，**樫山武士**，佐郷幸法，加藤周太郎，河邊真人，大口信一，古野志健男，高城一晃，藤澤康久，**高橋正実**，中澤祥二（監査），小山裕司，菅原謙二，滝川浩史，黒柳和久，森澤伸次，高橋秀典，近藤恵美，Khoo Pei Loon

【配布資料】

資料番号 R07-TS-01 豊橋技術科学大学同窓会 2025 年度役員一覧

資料番号 R07-TS-02 委任状提出結果

資料番号 R07-TS-03 豊橋技術科学大学同窓会 2024 年度事業報告

資料番号 R07-TS-04 豊橋技術科学大学同窓会 2024 年度決算報告

資料番号 R07-TS-05 会則の改定

資料番号 R07-TS-06 豊橋技術科学大学同窓会 2025 年度事業計画

資料番号 R07-TS-07 豊橋技術科学大学同窓会 2025 年度予算案

資料番号 R07-TS-08 第 4 回豊橋技科大ホームカミングデいの開催案内

【報告事項】

1. 2025 年度役員名簿の確認および委任状提出結果（2 系） 資料番号 R07-TS-01
資料番号 R07-TS-02
2. 2024 年度事業報告（2 系） 資料番号 R07-TS-03
3. 2024 年度決算報告（5 系） 資料番号 R07-TS-04

【協議事項】

1. 会則の改定（2 系）
2. 2025 年度活動計画（2 系） 資料番号 R07-TS-06

3. 2025 年度予算案 (5系)

資料番号 R07-TS-07

【その他】

1. 第4回豊橋技科大ホームカミングデイの開催
2. 企業における同窓会の現状紹介 (SOKEN 古野氏)
3. オンライン参加者との懇談会

資料番号 R07-TS-08

【議事】

報告事項

1. 2025年度役員の確認および役割分担について (2系) 資料番号 R07-TS-01, R07-TS-02

○稲田先生より、配布資料に基づき総会出欠・委任状集計について説明があり、総会成立条件が満たされていることが確認された。また、2025 年度役員一覧についても説明があり、主な変更点として、今年度から安部先生 (1 系) と日名地氏 (学外) が副会長を新たに担当すること、西村先生 (3 系) が新たに役員に加わったことが説明された。なお、副会長の定員を増加させることについては後ほど審議されることとなった。

○本件について特に質問等はなく承認された。

2. 2024年度事業報告 (2系)

資料番号 R07-TS-03

○稲田先生より、配布資料に基づき説明があった。

○若林会長より、パーティー等交流活動開催助成の申請について質問があった。申請書類では基本 10 名書けばよいとなっているものの、全員のメールアドレスを記載することになっていたかとの確認があった。また、申請資料には「フリーメールアドレスはできるだけお避けください」と書いてあるが、一方で企業等のメールアドレスは退職等で失効するので、むしろ Gmail 等の個人メールアドレスの方が適切ではないかと指摘があった。

→本件について、役員より基本的には 10 人を超える分も含めて助成対象の全員分の記載が必要であることについて回答があり、またメールアドレスの件も含めて申請書類を改めて確認して必要であれば修正することの必要性について確認された。

3. 2024年度決算報告 (5系)

資料番号 R07-TS-04

○松本先生より配布資料に基づいて、2024 年度の決算報告があった。また、5 系中澤先生による監査を受けたことが報告された。

○御出席者より質問：決算報告書 R07-TS-04 の同窓生懇親会開催援助について、事業報告 R07-TS-03 の「11 懇親会、パーティー等交流活動開催の助成 (同窓生支援)」と比較したときに、いくつかの項目について R07-TS-03 と R07-TS-04 で整合性が取れていないことのご指摘を受けた。

→役員より R07-TS-03 の「11 懇親会、パーティー等交流活動開催の助成 (同窓生支援)」の項目 13 は 18,000 円の間違いであり、また資料 R07-TS-03 の項目 11 と 12 が R07-TS-04 では合算されていることが両資料での差が生じた原因であると説明された。また、項目 11 と 12 の開催日は異なり別のものであり、R07-

TS-04 では分けて記載する必要があることが確認された。

○本件について、資料の修正を行った上で承認された。

○若林会長より、入会金について 2024 年度は約 91%の支払い率であったが、2025 年度は約 96%まで増加見込みであることが報告された。これは入会案内に同窓会活動の説明文章を加えたことによる効果と考えられると説明があった。

○高嶋顧問より、入会は任意と説明しているが、会則では学生は自動的に会員になるとなっており、入会金支払いの義務についてグレーな部分があるとの指摘があった。これについて参加者で議論があったが、現在の運用を継続しつつ、同窓会のサービス価値を高めることで納得して支払ってもらえるよう努力していくことが必要であると改めて確認された。

協議事項

4. 会則の改定（2系）

資料番号 R07-TS-05

○稲田先生より配布資料に基づいて、副会長の定員に関しての会則の改定について説明があった。改定内容は、現状では副会長は 2 名のみの定員であるが副会長交代に向けての引き継ぎ時には 3 名以上を配置できるようにするものであり、その改定理由は、次期副会長への業務引き継ぎを効率的に行うためであると説明があった。

○高嶋顧問より会則に書く必要があるのかという質問があった。また、御出席者より理由等を設けずに単純に「2 名以上」と会則を変えてもいいのではないかと提案があった。

○以上の議論を踏まえた審議の結果、会則の改定としては単純に「副会長 2 名以上」とすることで承認された。

5. 2025年度活動計画（2系）

資料番号 R07-TS-06

○稲田先生より配布資料に基づいて 2025 年度の活動計画の説明があった。

○本項目の審議が必要な内容はすべて予算に関するものであるため、予算案と一緒に審議されることとなった。

6. 2025年度予算案（5系）

資料番号 R07-TS-07

○松本先生より配布資料に基づいて 2025 年度の予算案について説明があった。ただし、「技科大祭特別支援」については本年度は予算に計上しないことと、「50 周年に向けた積立金」については今後は支出予算に入れることを前回の役員会で決定したこと（ただし今年度は赤字の見込みのため積立はしない予定）、また季報経費についてデザイン会社経費・執筆者謝金・協力学生謝金に関する計算誤り（正しくはそれぞれ 24 万円・40 万円・20 万円）が確認され、修正後の予算支出は総額 7,748,680 円であることが報告された。

○マレーシアよりオンライン参加の Zaba 氏（マレーシア海外同窓会 支部長）より 50 周年式典への海外からの渡航費援助について質問があった。

→本件について、マレーシア以外についても来年度予算に向けてまずは役員会で検討することとなった。

○御出席者より、赤字予算について懸念が示された。

→本件について戸高副会長より、コロナ禍からめざましご飯や同窓会カレーを特別に計上し始めたこと

が由来であることの説明があった。また、今後は食堂業者変更の予定もあるため、支援内容の見直しも必要であることが議論された。

○御出席者より、Web 名簿システムに多額の費用をかけているが、ほとんどの人が情報をクローズ設定にしており、検索しても何も出てこない状況であるとの指摘があった。企業別同窓会を作ろうとする際に、その企業にいる OB を調べるのが困難で、人事も個人情報保護の関係で情報を出してくれないとの課題が示された。また、その会社に就職した人に対して同窓会からメール送信等連絡ができるようにしてほしいとご意見があった。

→本件について役員より、現状でも同窓会に相談があれば、同窓会を通じてデータベースを照会して連絡可能であることが説明された。また、このようなサービスがあることをホームページや会報で広報していくことの必要性も議論された。

○戸高副会長より、最低賃金の増加に合わせて役員人件費についても増加させることが提案されたが、議論の結果、本件は予算案には反映せずに、今後の役員会で詳細を決定することで承認された。

○以上の審議の結果、修正された予算案で承認された。

その他

7. 第4回豊橋技科大ホームカミングデイの開催案内 資料番号 R07-TS-08

稲田先生より配布資料を用いて第4回ホームカミングデイ（2025年11月1日）についての案内があった。

8. 企業における同窓会の現状

SOKEN 古野氏より、東海地区の企業各社における同窓会である「雲雀会」について紹介があった。現時点では発足順で豊田中研（13名）、トヨタ自動車（183名）、デンソー（約190名）、スズキ（47名）、トヨタ車体（15人）の五つがあること、またアイシンにおいても発足に向けて準備中であることが報告された（なお、カッコ内の人数は名簿上の登録人数）。また、企業別同窓会設立のきっかけとして季報「技科大の顔」が非常に有効であり、これを見て「この人も豊橋技科大だったんだ」と分かることがあったため、今後も活用していきたいとの説明があった。さらに、豊田中研・トヨタ自動車・デンソー・スズキの四社の雲雀会合同で OB/OG会を実施したことが報告された。

9. 「技科大賞」について

○高橋正実先生（特別会員・豊橋技術科学大学客員教授）より、「技科大賞」の構想について説明があった。本賞は、豊橋技科大のブランディング向上・同窓会活動の活性化・学生の愛校心醸成・卒業生の継続的な繋がり創出を目的とするものであると説明された。本件について会場にて様々な議論があり、50周年記念事業として長岡技術科学大学と一緒に実施するのはどうかなどの提案もあった。